

香川高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	プログラミング言語
科目基礎情報				
科目番号	0117	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報工学科(2018年度以前入学者)	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	大山口通夫, 五味弘 共著 「プログラミング言語論」 コロナ社			
担当教員	徳永 修一			
到達目標				
1. オブジェクト指向プログラミングの仕組みを理解している。 2. 各種プログラミング言語の特徴を理解している。 3. プログラミング言語の操作的, 表示的, 公理的意味論を理解している。				
ルーブリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安 オブジェクト指向プログラミングの仕組みを具体的に説明できる。	標準的な到達レベルの目安 オブジェクト指向プログラミングの仕組みを理解している。	未到達レベルの目安 オブジェクト指向プログラミングの仕組みを理解していない。	
評価項目2	各種プログラミング言語の特徴を具体的に説明できる。	各種プログラミング言語の特徴を理解している。	オブジェクト指向プログラミング言語の特徴を理解していない。	
評価項目3	プログラミング言語の操作的, 表示的, 公理的意味論を具体的に説明できる。	プログラミング言語の操作的, 表示的, 公理的意味論について理解している。	プログラミング言語の操作的, 表示的, 公理的意味論を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	アプリケーション開発においては、アプリケーションの特性と言語の特徴を踏まえプログラミングする言語を選択する必要がある。本講義では、プログラミング言語に関する広い知識を身につけ、各種プログラミング言語の特徴およびプログラミングの考え方について解説する。			
授業の進め方・方法	講義は、主に前期前半にJava言語によるオブジェクト指向プログラミングの演習を取り入れ、その後は教科書を主体に広くプログラミング言語に関する知識を学習項目にそって講義する。プログラミング演習問題をレポート課題とし、確認の意味での小テストを適宜実施する。			
注意点				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方を理解する。	
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週	Java言語を用いて、基本的なプログラムが作成できる。	
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週	各種プログラミング言語の特徴を理解し説明できる。	
		15週		
		16週	プログラミング言語の文法の表現方法であるBNF記法, 構文図を理解する。	
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週	オブジェクト指向の諸概念を理解する。	
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週	プログラミング言語の操作的意味論について理解する。	
		12週		
		13週	プログラミング言語の表示的意味論について理解する。	

		14週	公理的意味論	プログラミング言語の公理的意味論について理解する。
		15週	後期末試験	
		16週	試験問題の解答	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類別・分野別・学習内容別に到達目標				到達レベル	授業調査
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		

### 評価割合